

「熟議の滋賀づくり」企画・運営業務委託 公募型プロポーザル_質問に対する回答

No.	質問	回答
1	各イベントのテーマについて、「死」「生」「幸せ」といった根源的なテーマであれば自由に提案してよろしいか。	ご認識のとおりです。積極的にご提案いただきたいと考えています。最終、県と受託者で協議のうえ、テーマを決定することとなります。
2	これまでの死生懇話会の取組には、委員の皆さんが関わっていらっしゃると思うが、今年度も委員を巻き込んだ企画となるのか。	昨年度末に委員の皆さんの任期は終了しています。テーマにもよりますが、例えばゲストスピーカーとしてご参加いただく等、委員という形ではない形で引き続き関わっていただくことも可能かと思えます。
3	サロンとトークイベントについて、実施する時間や時間帯の指定はあるか。	時間は2時間程度を想定していますが、イベントの内容によって決定できればと思います。また、時間帯について、県から指定はしませんが、来ていただく方の対象等を想定しながら一番集まりやすい時間帯としていただければと思います。
4	昨年度は書籍を出版されていると思うが、今年度の取組を受けて予定されている事業や構想等はあるか。	2月に書籍を出版したばかりなので、PRは引き続き力を入れていきたいと思っています。また、死生懇話会の取組についても、昨年度末に一定区切りは迎えていますが、今後もっとこの取組を知ってもらったり、「死」「生」「幸せ」といった議論を広げたりしていきたいと考えています。
5	本プロポーザルの事業はこれまでの死生懇話会の続編と考えたらよいのか。	これまでも「熟議の滋賀づくり」のなかに死生懇話会を含んでおり、行政が「死」や「生」といった根源的なことを議論する場を作ること自体を目的の1つとして実施しています。本事業は、死生懇話会の続編という部分もありながら、議論や参加者層をさらに広げることを狙いとしています。